

資料番号	地域 5
------	------

令和 5 年 7 月 19 日
課 名 地域政策局 中山間地域振興課
担当者 課長 藤谷
内 線 2632

「さとやま未来円卓会議」の開催について

1 要旨・目的

中山間地域の課題解決に取り組む「ひろしま里山・チーム500」（以下「チーム500」）の登録者の活動の継続と発展を支援するため、行政機関、経済団体及び大学等で構成する「さとやま未来円卓会議」を開催し、登録者の活動に対して、構成団体による助言や意見交換などを行う。

2 現状・背景

中山間地域振興計画の柱である「人づくり」の一環として、地域づくり実践者の活動を支援するため、平成30年度に「さとやま未来円卓会議」を設立し、令和4年度までに計11回開催し、25名の方に登壇いただいている。（令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響のため中止）

3 概要

(1) 対象者

チーム500登録者

(参考)「さとやま未来円卓会議」構成36団体

行 政	— 国（財務省中国財務局、経済産業省中国経済産業局）、県、市町
経済団体	— 広島県商工会議所連合会、広島県商工会連合会 ほか
金融機関	— ひろぎんエリアデザイン、もみじ銀行、広島信用金庫 ほか
大 学	— 広島大学、県立広島大学、叡啓大学
関係機関	— 特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター、公益財団法人ひろしま産業振興機構

(2) 事業内容（実施内容）

チーム500登録者の活動に対する支援

- ・ 活動継続に必要な人材や資金、情報、ノウハウの提供
- ・ 専門分野における個別相談支援 など

(3) スケジュール

第1回：令和5年8月8日（火）13:30～15:30（オンラインも活用したハイブリッド開催）

第2回：令和6年2月上旬予定 13:30～15:30

※各回とも3人登壇する予定

(4) 予算（単県）

1,628千円

4 その他（関連情報等）

- ・ 令和4年度第1回さとやま未来円卓会議
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/semi-mt/satoyama-entaku.html>
- ・ 令和4年度第2回さとやま未来円卓会議
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/semi-mt/satoyama-entaku2.html>

(参考)

令和5年度第1回登壇予定者 ※ () 内は活動地域

(1) 延原 真由子氏 (三次市)

【発表内容】

- ・ 耕作放棄地を活用し、継承が危ぶまれている、はぶ草茶やほうじ茶等の栽培・加工や、地域の特産品づくりを行う取組。
- ・ 事業の継続・発展に向けた商品設計の見直しにかかる相談。

【チーム500サイトURL】

<https://team500.hiroshima.jp/member/profile/456>

(2) 佐々木 有紀子氏 (県内全域)

【発表内容】

- ・ フードコーディネーターや食品表示診断士等の資格を活かし、中山間地域の産物を活用し新たな付加価値を生み出そうとする活動者の様々なニーズに応じたサポートを行う取組。
- ・ 事業者をトータルで長期的にサポートする活動への転換にかかる相談。

【チーム500サイトURL】

<https://team500.hiroshima.jp/member/profile/439>

(3) 岸本 恭子氏 (神石高原町)

【発表内容】

- ・ 地域の人々と協働し、『JINSEKI BASE』の名を冠したキャンプ用品を開発・販売。『JINSEKI BASE』の商品が活用されることで、神石高原町が「キャンプの聖地」として認知され、地域に魅力を感じた人を移住者として呼び込みを図る取組。
- ・ 『JINSEKI BASE』の商品のブランディング化にかかる相談。

【チーム500サイトURL】

<https://team500.hiroshima.jp/member/profile/526>